

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	動物用ネオラック
製造業者情報	
会社名	住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社
住所	大阪府大阪市中央区道修町二丁目2番8号
担当部門	RC/品質保証部
電話番号	06-6223-7543
FAX番号	06-6223-7531
推奨用途及び使用上の制限	動物用医薬品

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類基準に該当しない。以下ラベル要素は項目自体削除。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別 混合物

化学名及び一般名

成分名	CAS No.	含有量
塩酸ポリアルキルポリアミノエチルグリシン	登録済	10.0%
ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	9002-93-1	3.0%
精製水	登録済	非開示

危険有害成分

化学物質管理促進法 (PRTR)

第一種指定化学物質

ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル No.408

第二種指定化学物質

指定化学物質はない(又は閾値未満)

労働安全衛生法

第57条 表示対象物質

対象物質はない(又は閾値未満)

第57条の2 通知対象物質

対象物質はない(又は閾値未満)

毒物及び劇物取締法

非該当

4. 応急措置

吸入した場合:	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静にし、当該SDSや製品ラベル情報を医師に示して直ちに医療機関で手当てを受ける。
皮膚(または髪)に付着した場合:	汚染された衣類、靴を脱がせ、速やかに製品に触れた部分を大量の水または微温湯と石鹸で洗浄する。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療機関で手当てを受ける。
眼に入った場合:	直ちに大量の清浄な水で数分間注意深く洗浄する。まぶたの裏も含めて最低15分間洗浄した後、直ちに眼科で手当てを受ける。
飲み込んだ場合:	直ちに水でよく口の中を洗浄し、医療機関で手当てを受ける。嘔吐物は飲み込ませないようにする。

5. 火災時の措置

本品は引火性がなく、消防法の危険物適用外(非危険物)ではあるが、周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。

消火剤: 材質が、紙・布など燃え易く火がついた場合は、水・炭酸ガス・泡・粉末消火剤、乾燥砂で消火する。
使ってはならない消火剤: 情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:

- ・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・ 作業の際には必ず保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、噴霧粒子を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項:

- ・ 流出した製品が河川等に混入し、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収:

- ・ 漏出物は乾燥砂、土その他不燃性のものに吸収させてスコップ、ウエス等ですくい取りまたは掃き集めて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- ・ 回収物は密閉できる空容器に回収し、関連法規に基づいて処置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

- ・ 換気の良い場所で取り扱う。
- ・ 容器はその都度密栓する。
- ・ 皮膚、粘膜、又は着衣に付着したり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
- ・ 取扱い後は手・顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。
- ・ 密閉された場所における作業では、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

保管:

- ・ 保管場所は、食品、食器、飼料などと区別し、小児などの手の届かない所で、直射日光が当たらない乾燥した涼しい場所にする。
- ・ 他の容器に移して保管しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具: 状況に応じて次の保護具を着用すること。

呼吸系の保護	有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護	耐溶剤性手袋を着用する。
眼の保護	保護眼鏡を着用する。
皮膚の保護	長袖の作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外觀(性状・臭気): 淡黄色～淡黄褐色澄明な液体
pH: 5.5～7.5
引火点: なし
密度: 1025 kg/m³
溶解性: 水に溶解する。
その他: 特になし

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常取扱いにおいては安定。
反応性: 通常取扱いにおいては安定。
避けるべき条件: 熱や発火源を避けること。
混触危険物質: 情報なし
危険有害な分解生成物: 刺激性ガス [－] NO_x[○] SO_x[－] その他[－]

11. 有害性情報

(製剤の情報)

急性経口毒性: LD50 マウス 1610 mg/kg

12. 環境影響情報

(ホリ) (オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテルの情報)

生態毒性(急性): 藻類(セテナストラム) EC50 96hr 0.21mg/L

13. 廃棄上の注意

- ・自治体の条例や指導に従って処分すること。
- ・使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。
- ・容器、機械・装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関連する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・河川、湖沼、下水道等の水系や地下水を汚染する場所には捨てないこと。

14. 輸送上の注意

共通: 運搬に際しては、容器の漏れのないことを確認して、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法に該当する場合は、それぞれの法規に定められた運送方法に従うこと。

海上輸送: 船舶安全法の定めるところに従うこと。

航空輸送: 航空法の定めるところに従うこと。

国際規制

国連分類:	非該当
国連番号:	非該当
品名:	非該当
容器等級:	—
海洋汚染物質:	非該当

15. 適用法令

薬機法	動物用医薬品
消防法	非危険物
化学物質管理促進法(PRTR)	該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当

16. その他の情報(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

- 1) 原料メーカーの安全データシート
- 2) 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人製品評価技術基盤機構)
- 3) 化学商品(化学工業日報社)
- 4) JIS Z 7253(2012) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

本品の使用に際しては、ラベル等の記載をよく読み、十分理解した上で、使用方法および用途を厳守して使用して下さい。

(複写はご遠慮ください)